

<北サポ通信>令和元年7月号

暑さ厳しき折、元気にお過ごしでしょうか。日頃は大変お世話になっております。

北サポでは、平成31年4月から令和3年までのスタートを切りました。今年度は①多職種の「顔の見える関係」から「ものを言える関係」への取組み②入退院支援の円滑化：手引きによる支援の充実③市民啓発：人生会議についての3本柱で活動計画をしております。また、北区六師会をはじめとする在宅医療・介護連携推進委員会は組織体制(図1参照)を変え、地域の医療介護福祉の実務者が中心のワーキンググループを結成し課題に取り組むことになりました。北区の在宅医療介護連携を共に担う北区役所の健康課、福祉課の新しい担当者と手を携え励む所存です。多職種ワーキンググループでは地域の現状把握を詳細に行い課題の整理・明確化が進んでおります。現状を把握する為に会員の先生方にはアンケートなどを依頼する場合もあるかと存じます。その折には何卒ご協力をお願い致します。

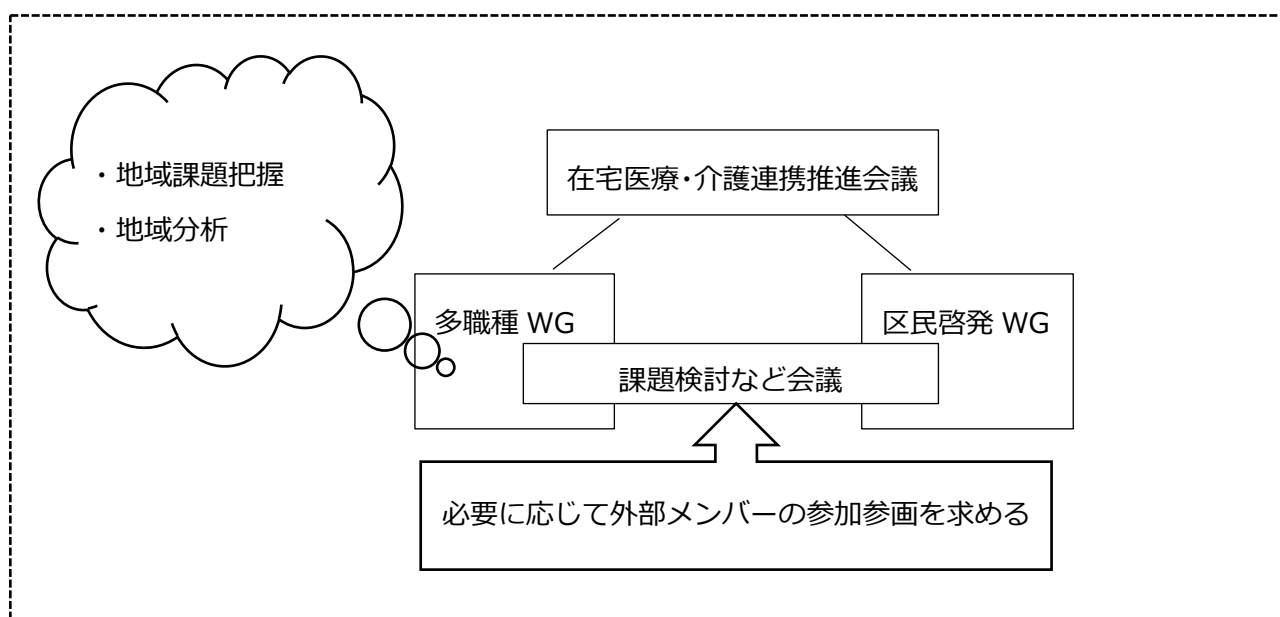


図1 大阪市北区健康課資料より著者改変

「【自分らしく住み慣れた場所で最後まで】全ての事業で1人の生活を支える」を実現するために頑張ります。どうぞ、お気軽に北サポをご活用ください。